

# 町制施行60周年記念

# 須恵町60年史①

昭和28年～昭和58年  
 ※次号に昭和58年から現在まで掲載

写真とともに須恵町の歩みを振り返ります。



須恵第二小学校旧校舎



昭和48年大雨災害



恵山閣



広報すえ創刊  
 (昭和34年)



炭鉱での作業の様子  
 (～昭和39年)



スポーツ公園  
 (昭和52年)

## 町制施行60周年を迎え

明治22年に旧6村(佐谷村、上須恵村、須恵村、新原村、植木村、旅石村)が合併し、「須恵村」が誕生。昭和28年に町制が施行され、「須恵町」から「須恵町」に改称。そして、今年、「須恵町」になって60周年を迎えました。

人で言うなら還暦を迎えたこととなります。還暦とは、本掛還りともいって、数え年の60歳になると、生まれた干支に戻ることに由来します。また、マヤの暦「長期暦」では、昨年12月21日で一つの区切り(周期)を迎えるという予言があり、世界中で話題になりました。

今年の干支は巳年です。蛇は成長するために脱皮を繰り返します。そのことから、平成25年は須恵町にとっては、脱皮して生まれ変わる「風」の年にもなります。

平成22年の国勢調査において、人口が2万6000人に達したと喜んでいました。そして、平成25年1月には、つ

## 町長 中嶋裕史

いに2万7000人を超えました。産業に関しては、さまざまな企業の進出もあるようです。国の三位一体の改革によって、地方自治体は緊縮財政を強いられ、財政出動の圧縮によって、町民のみなさんにも耐え忍んでいただきました。須恵町の財政は、思い切った行政の改革によって、基金の準備高も目標額に達しました。

これからは「ブレイキ」から「アクセル」に切り替え、活力ある町づくりを求めて参りたいと思っています。

さらに、「教育を基盤にすえた町づくり」に専念し、東日本大震災以降、国民の最大の願いである「安全・安心」を第一義に、便利さや愛着を共有できる「共助・協働」による、新生「須恵町」建設に向けて邁進して参りたいと思

- 昭和28年4月 町制施行により須恵村が須恵町と改称
- 昭和28年6月 集中豪雨
- 昭和32年1月 須恵第二小学校開校
- 昭和39年6月 国鉄志免鉱業所閉所
- 昭和40年4月 上水道事業開始
- 昭和41年4月 第一保育所開所(平成19年4月、認定こども園アザレア幼児園に移行)
- 昭和46年3月 一番田住宅団地・城山住宅団地・新原工業団地造成
- 昭和47年4月 須恵第一小学校を南米里区に移転開校
- 昭和48年3月 健康広場新設
- 町章・町歌を制定
- 昭和48年4月 東幼稚園開園(平成25年3月閉園)
- 昭和48年5月 町制施行20周年記念式典挙行
- 昭和48年7月 集中豪雨

- 昭和48年12月 老人福祉施設「恵山閣」オープン(平成9年5月閉館)
- 昭和49年3月 武道場建設
- 昭和49年4月 西幼稚園開園(平成19年4月、認定こども園アザレア幼児園に移行)
- 昭和49年7月 歴史民俗資料館開館
- 昭和49年12月 住民センター「あおば会館」開館
- 昭和51年9月 かやの保育所開所(平成25年3月閉園)
- 昭和52年4月 南幼稚園開園、スポーツ公園建設
- 昭和52年5月 藤浦住宅団地造成
- 昭和53年2月 社会福祉センター建設
- 昭和54年8月 カルチャーセンター建設
- 昭和57年3月 須恵中学校校舎建設
- 昭和57年10月 勤労者体育センター建設、須恵町粕屋町し尿処理施設「酒水園」操業開始
- 昭和58年3月 皿山公園完成